

新田保育所の民営化大改修費は

町長

約8900万円、無償譲渡したい



下村 豊 議員

(問) 最近売り家や生活感のない家屋が見られる。町のホームページに空き家情報を提供しては。

(町長) 空き家は老朽化、防火、防犯等の面からよくないので調査が必要。一戸建売り家については、町のホームページ

ジへの掲載も検討する。(問) 本町はふるさと納税による寄付金額が低調。町のPRやお礼に町の特産品を贈る等、制度活用にも力を入れるべきでは。

(町長) 町のホームページにふるさと納税の仕組みや、申込方法を掲載している。今後、寄付金の増額に力を入れていく。(問) 4月28日に町長から新田保育所を民間譲



用水路の転落防止柵は万全か？

渡する話があった。長期総合計画の基本計画との整合性はあるのか。施設大改修の予算額は譲渡する時期と有償無償の別は。

(町長) 中期基本計画で新たに行政改革大綱を策定、その中で保育所の民営化を示している。改修予算額は約8900万円、内訳は防衛省補助4600万円、地方債2400万円、基金1900万円である。

譲渡時期は平成27年4月を予定。今まで無償譲渡した4保育所と同様に社会福祉法人に無償譲渡したい。

(問) 用水路に併設している農道の舗装整備が進んでいる。転落防止柵等の設置については。(町長) 通学路や通行量危険性の高い場所については、土地改良区や水利組合及び地元と協議し対策を実施している。

町の観光スポットの整備を！

町長

計画的に整備していきたい



櫻井盛生 議員

(問) スカイパーク構想を打ち出して5年が経過している。どのような整備を進めるのか内容がわからない。造るだけでは意味がない。集客が多く町民の経済

効果に期待が持てるようにすべきだ。併せて、周辺の道路整備も考えてほしい。

(町長) いま、防衛省に對し、基地南東側に隣接する周辺財産を活用し、緑地広場を整備するよう協議を進めております。ご意見を頂きながらしっかりと内容を詰めていきます。



富田浜入り江の道路整備を！

(問) 富田浜東側南端は、大自然を感じる場所であり、貴重な観光資源だと考えている。道路の整備を急ぐとともに、公園化して、多くの人に活用されるようにすべきだ。

(町長) 今も、ルピナスを植え、活用しているが、今後カヌーの競技等にも期待しており、現在進入路の整備を進めております。(問) 観音山も重要な観光施設と考える。現在整備されているが、観

光客には殆ど利用されていない。(町長) 富田浜と一体化した周遊ルートとしての活用や、津波等における避難場所としての活用もしてまいります。

新富町の定住促進策は

町長

新築住宅建築費用を一部助成



増永逸雄 議員

〔問〕都市計画区域内の
保留地の現況と今の評
価額を教えてください。

〔町長〕7ヶ所252
4・21平方メートル
で、1平方メートル当
り平均で4万284円
です。

〔問〕精算事務の返済状
況は、どうなっていま
すか。

〔町長〕分納されている
方が数名あり、平成30
年度までに終わります。

〔問〕平成21年度の監査
報告書『決算審査意見
書』で移管され、普通
財産に付いて早期に処
分するよう進められて
います。町長の考えを
伺います。



保留地処分はいつまでに…

〔町長〕一般会計に、移
管しましたので、今後
は、普通財産として現
状に見合った評価額の
見直しをして行いま
す。

〔問〕町有財産の活用及
び処理について伺いま
す。

〔町長〕旧保留地処分は、
区画整理事業の価格差
及び分納金の精算金等
を考慮しながら処分し
たい。

〔問〕モデル事業として
県外者の定住を図るた
め保留地活用はできな
いか。

〔町長〕新しい定住化モ
デルだと思っています。民
間と連携し、今後の研
究課題だと思っていま
す。

南海トラフ巨大地震対策は

町長

作成委託費を補正予算計上



比江島義秋議員

〔問〕新富町が財政上の
特別措置が受けられる
津波避難対策特別強化
地域となり、津波避難
対策緊急事業計画及び
減災の推進計画策定は
出来るのか。

〔町長〕今回の補正予算
に避難対策作成委託費
を計上。減災推進計画
は東南海、南海地震防
災対策推進計画を改
め、南海トラフ特別措
置法に基づく推進計画
を進めている。

〔問〕避難困難地域の下
富田に津波避難施設を
早急に建設すべきと思
うが町長の見解を伺い
たい。



見える所に貼りましょう！

〔町長〕下富田地域の避
難施設としてどの様な
施設が良いか、設置規
模、財源等を検討して
まいります。また、横
江地区にある消防団第
12部消防機庫を避難施
設の活用を含め改築を
考えています。

〔問〕下富田には運動広
場が一つも無い地域で
す。避難場所と運動広
場を兼ねた「命の築山」
を作る考えはどうで
すか。

〔町長〕提案があれば相
談してまいります。い
ろんな観点から考えな
がら場所と規模を決め
て進めて行きます。

〔問〕隣の宮崎市は避難
タワー2箇所、複合型
避難施設1箇所を本年
度中に完成させるとい
う実に積極的ですが、
これを町長はどう思
いますか。

〔町長〕本町の取組み
が遅れているのは事実
です。どこにどうい
う規模か決まらな
いに進みません。地元の
理解を得ながら前向き
にやって行きます。

新田地区に「多目的運動広場」の整備を

町 長

「憩い、スポーツの場」実現を十分考える



阿 萬 誠 郎 議員

〔問〕町の公営住宅ストック総合活用計画の最終判定結果で「建替える」計画の4団地（天井丸・成法寺・栗野田・柳田）は、全て耐用年数を超過した簡易平屋建て住宅である。早期実現に対策はあるのか。

〔町長〕町づくりを含めた公営住宅のあり方について、地域住民と入居者の対話の場は必要と考えます。今後、ど

〔都市建設課長〕今後も、「建替え」となる団地は、任意退去されてからの取り壊しを継続していきます。

〔問〕建替え団地に係る地域の課題解決と住民の需要を聴く行政と協働の連携組織を設置しては。

〔町長〕町づくりを含めた公営住宅のあり方について、地域住民と入居者の対話の場は必要と考えます。今後、ど



どうするの？老朽化した公営住宅

のように進めるのか考えていきたい。

〔問〕町の目標に「質の高い公営住宅のサービスのある町」と掲げているが、町長の描くものはあるのか。

〔町長〕今のニーズに答える質の高い居住環境、そして地域住民との交流を深め、自分らしく生活をおくる住まいの提供と、安価な家賃で供給できる質感のある住宅を理想として掲げ

ております。

〔問〕新田地区の成法寺住宅団地に健康づくりと防災機能を担う「多目的運動広場」の整備を進めていただきたい。

〔町長〕運動広場については、新田地区の要望もあり、あつく受け止めている。「憩いとスポーツの場」を整備して誘客を図りたい。その実現に向けて十分考えていきます。

地域密着型サービス制度拡充は

町 長

本年度計画に盛り込む



高 野 賢 治 議員

〔問〕地域密着型サービスの制度拡充は。〔町長〕本年度に介護保険計画を作成する為、アンケート調査を行い、それらの要望を踏まえ

この計画の中に盛り込んでいきます。

〔問〕新富町における現在の介護度ごとの対象者数及び介護保険事業の見直しは。

〔福祉課長〕要支援から要介護まで687名おられます。165名が施設に入所されています。



申請により各世帯に設置されたIP告知放送端末（2割が未設置）

介護保険事業の計画の見直しですが、新たなサービス・ニーズ調査を介護支援認定者に直接要望調査を実施します。7月末を回収日、10月までに方向性を出し、3月議会までに計画の提案をしたい。

〔問〕情報通信基盤整備事業の総括と活用について。

〔町長〕緊急情報及び行政情報等の告知放送サービスの充実、町内同士であれば固定電話の通話料無料化、高速

なインターネットサービスの提供が可能となったことなどです。問題点としてまだ告知放送サービスへの申込をされていない世帯等への利用促進などです。今後の活用について、災害に強い町の実現、地域活性化、高齢者・児童の見守り等新富町が抱える様々な課題に対応する為、調査研究を重ねICTを活用したまちづくりを進めてまいります。

行政調査

先進地の新情報を求めて調査活動
命の山・空き家バンク・小水力発電

全般

総務産業常任委員会7名は、先進地の新情報等の入手をねらいに、委員会の政策提案能力と委員の資質の向上に資することを目的に、本年度の行政調査を行いました。

5月13日（火）は山梨県北杜市を訪問して、①定住促進事業への取

組み、②ふるさと納税

への取組み、③大規模

太陽光発電への取組み、

④温泉健康センターの運営状況の調査を行いました。

翌5月14日（水）は

山梨県都留市を訪問し

て、①エコ小水力発電

への取組み、②情報通

信事業への取組みにつ

いて調査を行いました

最終日5月15日（木）



住民の命を守る「湊命の山」

は静岡県袋井市を訪問して、津波避難施設「湊命の山」について調査を行いました。

概要及び所見

議会事務局の綿密かつ十分な事前調整により、円滑な調査を実施することができました。

▼北杜市においては、定住促進により人口増

を図るため、空き家情

報登録制度「空き家バ

ンク」制度を開始し、

市のホームページで空

き家情報を提供してい

ます。

また、ふるさと納税

への取組みについては、

豊かな自然環境をキャッ

チフリーズに市のPR

を行っており、平成20

年度開始以来、年々寄

付金額が伸びています。

寄付金実施者への大

きなメリットは、何と

言っても北杜市の特産

品がお礼として送付さ

れることです。

▼都留市においては、江戸時代に街中に敷いた用水路を利用して、小水力発電が国の補助金により行われていた。

小水力発電は、維持費

が低廉で、二酸化炭素

を排出せず、24時間発

電出来るエコなエネル

ギーですが、水利権の

問題が障壁となる場合

があります。

また、地域情報シス

テム「ハートフルネッ

トつる」を立ち上げ、

市民の様々なグルー

プ等が利用しています。

▼袋井市においては、

津波避難施設「湊命

の山」を調査しました。

湊地域は低地で避難

に時間がかかるため、

住民の要望により設置

したもので、盛土によ

りできており、高さ10

mで1300人が収容

できる施設です。

総務産業常任委員会

委員長 下村 豊



成田市での研修の様子。

町の将来と前進をテーマに調査活動
地域包括ケアの構築が最優先課題

全般

文教厚生常任委員

会6名は、町政にお

ける先進地の情報収集

及び、本町の将来の発展

と「前進」をテーマに、

本年度の行政調査を行

いました。

5月13日（火）は千葉

県鴨川市を訪問して、

小中学校一貫教育への

取組み運営状況の調査

を行いました。

翌5月14日（水）は

千葉県成田市を訪問し

て、複合施設（もりん

びあこうず「公津の

杜」への取組み状況

について調査を行いま

した。

最終日5月15日（木）

は千葉県浦安市を訪問

して、地域包括支援セ

ンターの運営について

調査を行いました。

概要及び所見

▼浦安市に於ける「地域包括ケアシステム」は、おおむね30分以内に必要なサービスが提供される日常生活圏「中学校区」を単位として想定されていました。

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるようにつなげる。又重度の要介護者、独居や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が今後増加していくことを踏まえ在宅生活者を支える様にすること。具体的には24時間の定期巡回・随時対応サービスの普及促進に積極的に取り組まれていました。

事業内容では訪問介

護と訪問看護のサービスを一体的に提供する「一体型事業所」、地域の訪問看護事業所を連携してサービスを提供する「連携型事業所」の利用方法も試みられております。

自治体や事業者・ケアマネジャー・看護関係者を中心にサービスの普及を徹底し定期巡回・随時サービスと併せ、1日複数回サービス提供する訪問介護における身体介護の20分未満の報酬区分についても検討がなされていました。

市町村が地域の自主性を生かし地域の特性に応じて構築していくことが、最も大事だと強く感じました。

文教厚生常任委員会

副委員長 倉永豪修

告示後住宅防音工事20件着手
地上騒音調査年度内実施

基地対策特別委員会
要望活動報告

6月23日～24日

九州防衛局・熊本防衛支局

面談者

九州防衛局長・企画部長・熊本防衛支局長・ほか担当職員

6月26日～27日

防衛省、総務省、財務副大臣会館事務所

面談者

防衛副大臣、地方協力局長、空幕基地対策室長、総務省自治税務局長、固定資産税課長、ほか担当職員

▼要望の主要項目と内容について

①告示後住宅の進捗は本年度20件が決定。本年度希望者残の早期対応と来年度促進を要請。

②地上騒音対応は、本年度調査確約。

③住宅防音工事は、新田原基地関連で、本年度8億6800万円（昨年度微増）

④上新田小建て替えの件は来年度の概算要求中。

⑤町内緊急道路整備は町行政と調整が必要。

⑥まちづくり事業補助金の件は努力する。

⑦猿ヶ瀬川改修の件は来年度より県への助成として調査努力する。

⑧基地関連工事及び物

品調達は地元企業参入を強く要請。

地域評価型落札方式を採用し、受注の機会増に努力中。

以上、30項目を要望し、その主な部分の報告と致します。

特別委員会の全委員から多くの質疑が出され、町民の厳しい環境を申し入れ、一日も早い課題解決を強く要請致しました。

引き続き、防音工事や空調機器取替えの早期完了、隊員の町内居住、地元企業への優先発注とその他の制度改善及び事務手続きの迅速化への努力を促進してまいります。

基地対策特別委員会

委員長 三浦千尋

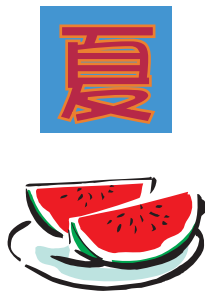


九州防衛局へ要望書を提出

カ・メ・ラ・探・訪



▲まちに待ったプール開き



▲収穫を待つ「ライチ」



アジサイ

- ▲花言葉は
- ・辛抱強い愛情
 - ・元気な女性
 - ・移り気



▲胃部デジタル検診車



▲消防操法大会

あつと言う間に65歳が過ぎた。私達団塊の世代の10年後はどんな老後になるのだろうか。国民年金だけでは有料老人ホームに入れない。入所出来そうな特別施設は待機者で満杯。子供達には迷惑を掛けたくないし、介護難民が出るのではないかと懸念する。今から少しずつ準備し、老人福祉に力を入れてもらえたらと思います。

上富田 K・Mさん

アベノミクスに批判。円安の誘導で地方は大変。企業向けの政策で勝ち組と負け組がはつきりと色分けされた。輸出産業の自動車、電器産業など利益を上げている反面、輸入産業ではコストが上がり、経営の危機にある。特に地方は輸入に頼る。本当に今の政策が正しいのか疑問を抱く。地方の切り捨てではないのか。

日置 T・Mさん

町民の声
議会に寄せられた
町民の皆様の声です。

編集後記

6月議会は政策予算で大
型補正となりました。

私達議会もその執行に当たり、公平性・公益性・透明性を最重要視、さらには将来性の観点で審査致しました。特にスカイパーク事業を含む「まちづくり予算」や複合施設、新田保育所の委託を前提とした改修計画、ICTを活用した将来計画等その推移の一コマ一コマに対し、住民サービスと未来の子供達の為なのかを極めて参ります。どうか住民の皆様のご意見をお待ちしております。

千尋

議会広報特別委員会

委員長 永友 繁喜
副委員長 高野 賢治
委員 三浦 千尋
倉永村 千尋
阿萬 豪修
誠郎

〃 〃 〃

※連絡先 議会事務局

TEL 33-6139